

令和2年度

北竜町一般会計・特別会計  
決算審査報告書

監査委員 板垣 義一

監査委員 小坂 一行

# 目 次

## 審査の概要

1. 審査対象決算	1
2. 審査の期間	1
3. 審査の対象	1
4. 審査の要領	1

## 審査意見

1. 総括意見	2, 3
2. 各会計の審査概要	4
各会計決算総括表	4
(1) 一般会計	5
歳入	5
歳出	6
第1表 財源の状況	7
第2表 支出の状況	8
第3表 基金の状況	9
第4表 一部事務組合負担金調	10
(2) 国民健康保険特別会計	11, 12
(3) 町立診療所事業特別会計	13
(4) 後期高齢者医療特別会計	14
(5) 介護保険特別会計	15
(6) 特別養護老人ホーム事業特別会計	16
(7) 農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計	17
3. 基金運用状況審査結果	18
(1) 奨学資金貸付金会計審査意見書	18
奨学資金貸付調書	19

# 審 査 の 概 要

## 1. 審査対象決算

- (1) 令和2年度北竜町一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和2年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和2年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和2年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 令和2年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算

## 2. 審査の期間

令和3年8月24日、25日、26日、27日（4日間）

## 3. 審査の対象

- (1) 各会計決算
- (2) 同上関係諸帳簿
- (3) 証書類及び付属書類
- (4) 財産に関する調書並びに基金運用調書

## 4. 審査の要領

- (1) 会計記録の正当性及び計数の確認
- (2) 予算執行の適否
- (3) 財産運用の妥当性

以上の点に主眼を置き、関係諸帳簿の精査及び証書類との照合、さらに必要に応じ担当課から資料の提出及び説明を求め、既往の監査の結果を参考にしながら審査の適正を期した。

# 審 査 意 見

## 令和 2 年度北竜町一般会計及び特別会計決算審査意見

### 1. 総括意見

#### ①一般会計及び 6 特別会計について

令和 2 年度の一般会計及び 6 特別会計を合わせた決算状況は、歳入 5,209,788 千円で前年度に比べ 275,680 千円 (5.0%) 減収し、歳出は 5,135,381 千円で前年度と比べ 266,180 千円 (4.9%) 減少している。

一般会計の歳入総額は 3,942,362 千円で対前年度比 273,235 千円 (6.5%) の減収、町税の不納欠損額は 244 千円、収入未済額は 1,853 千円でこれらを合わせた対前年度比は 211 千円 (111.2%) 増加している。また、自主財源で対前年度比 145,987 千円の減収、依存財源では 127,248 千円の減収となり、歳入全体で対前年度比 273,235 千円の減収となっている。なお、予算に対する収入歩合は 96.89%、調定に対する収入歩合は 99.85%であった。

歳出では総額 3,882,904 千円となり性質別に分類した場合、義務的経費が 957,219 千円で対前年度比 31,414 千円の増額となって歳出総額の 24.6%を占めている。内、人件費は 435,521 千円で対前年度比 4,583 千円 (1.1%) の増、公債費は 393,968 千円で対前年度比 27,386 千円 (7.5%) の増であった。歳出全体では前年度比 265,353 千円の減となり、歳入歳出差引き残高の単年度収支は 316 千円の黒字となっている。

特別会計の収支は国民健康保険特別会計を始め全 6 特別会計共に一般会計からの法定繰り入れ、任意繰り入れをもって収支の均衡を計っている。

財政指標の内自主財源の割合を示す財政力指数 (3 カ年平均) は前年度より増加し 0.137 であった。また、経常収支比率は 89.4%と前年度比 3% 下降した。

## ②今後の見通しについて

一般会計及び6特別会計を合わせた決算収支状況は、前年度に引き続き単年度収支黒字決算となっている。この状況は長期にわたり続いているものの依然として歳入の根幹を成している地方交付税に影響されるところが大きい。少子高齢化、人口減少化などにより納税義務者の減少が見込まれることから、今後税収の増加を期待することは難しい。

一方、今後は高齢化の進展による社会保障費や施設の維持保全経費など、多大な財政負担が見込まれることから、収支の均衡をより意識した厳しい財政運営が求められている。また、併せて次世代の負担軽減のため地方債残高の抑制に更に取り組む必要が感じられる。

今後、限られた財源の中で新たな町民のニーズや社会的要請などを踏まえ、事業の選択と限られた財源の効率的で重点的な集中により、より最小の経費で最大の効果が得られるよう、効果的な行政運営を一層推し進める事が求められるものと思われる。このため更なる財政の健全性を維持していくことが必要と考え、次の諸点に特に留意され取り組む事を望むところであります

- イ) 引き続き財政状況の硬直化が進捗していることを踏まえ、経常経費の一層の節減に努め、物品購入に当たっては、コスト意識を十分に持ち、経費節減に努められたい。
- ロ) 税、使用料、負担金などの未収金については町民負担の公平性の観点から、早期解消に向け計画的で効果的に回収を計ると共に新たな滞納の発生について抑制に努めること。
- ハ) 大型事業の実施により、財政に及ぼす影響が大きくなっている。  
今後、投資的事業の実施に当たっては財政負担を考慮した上で計画的に進められたい。

## 2. 各会計の審査概要

決算審査にあたり、町長より各会計にわたる決算説明書の提示があったので重複をさけ、各会計別の概要を報告する。

令和2年度各会計決算総括表は、下記のとおりである。

### 令和2年度各会計決算総括表

(単位：円、%)

会計名	歳 入					歳 出			差引残額 (C-E)	
	予算現額	調定額	収入済額	収入歩合		予算現額	支出済額	執行率		
	A	B	C	C/A	C/B	D	E	E/D		
一般会計	4,068,883,000	3,948,399,224	3,942,362,385	96.89	99.85	4,068,883,000	3,882,904,248	95.43	59,458,137	
特別会計	国民健康保険	297,563,000	299,239,320	293,940,688	98.78	98.23	297,563,000	291,221,383	97.87	2,719,305
	町立診療所	99,741,000	94,667,985	94,667,985	94.91	100.00	99,741,000	94,206,640	94.45	461,345
	後期高齢者医療	38,121,000	37,760,003	37,760,003	99.05	100.00	38,121,000	37,746,103	99.02	13,900
	介護保険	287,111,000	286,662,266	286,662,266	99.84	100.00	287,111,000	276,283,624	96.23	10,378,642
	特別養護老人ホーム	448,569,000	442,880,988	442,880,988	98.73	100.00	448,569,000	442,349,456	98.61	531,532
	農業集落排水及び個別排水	112,693,000	110,952,653	110,916,473	98.42	99.97	112,693,000	110,669,672	98.20	246,801
	小計	1,283,798,000	1,272,163,215	1,266,828,403	98.68	99.58	1,283,798,000	1,252,476,878	97.56	14,351,525
合計	5,352,681,000	5,220,562,439	5,209,190,788	97.32	99.78	5,352,681,000	5,135,381,126	95.94	73,809,662	
参考	前年度実績	5,519,816,000	5,497,091,384	5,484,871,450	99.37	99.78	5,519,816,000	5,401,562,036	97.86	83,309,414
	対前年増減	△167,135,000	△276,528,945	△275,680,662			△167,135,000	△266,180,910		△9,499,752
	対前年比	△3.0	△5.0	△5.0			△3.0	△4.9		△11.4

## (1) 一般会計

### ○歳入

- イ. 予算現額 4,068,883,000 円に対し、収入済額は 3,942,362,385 円で、収入歩合は 96.89%、対予算では 126,520,615 円の減である。また、調定額 3,948,399,224 円に対する収入歩合は 99.85%で、6,036,839 円が未収入となっている。
- ロ. 歳入の主なものは、地方交付税が 1,536,264,000 円で歳入全体の 38.97%を占めている。以下、寄付金 644,872 千円 (16.36%)、国庫支出金 517,226 千円 (13.12%) 町債 384,506 千円 (9.75%) の順となっている。  
なお、寄付金においては、ふるさと応援寄付金が 599,891,804 円と前年度比 109.3%となっている。
- ハ. 歳入のうち、自主財源は 1,150,784,345 円 (構成比 29.2%) で町税を除く主なものは寄付金が 644,871,619 円、繰入金が 95,670,854 円となっている。また、町税は 181,649,902 円で前年度比 5.4%の増となっており、自主財源は 145,985,771 円 (前年比 11.3%) の減となっている。  
(第 1 表 財源の状況参照)
- ニ. 町税の徴収は、前年度対比に 105.4%となった。不納欠損処分額は 244,087 円であった。  
また、収入未済額は 1,853,722 円で前年度と比較して 32,709 円減少している。今後においてもこれらの取扱いについて、厳正に対処され、徴収率を維持されたい。

## ○歳 出

- イ. 予算現額 4,068,883,000 円に対し、支出済額は 3,882,904,248 円で執行率は 95.43%である。差引歳出不用額は 83,581,752 円である。
- ロ. 不用額の主なものは、負担金補助及び交付金 105,113,966 円（構成比 56.5%）、繰出金 23,477,152 円（同 12.6%）、需用費 11,803,995 円（同 6.3%）、委託料 11,038,827 円（同 5.9%）、等となっている。
- ハ. 歳出の性質別決算状況では、消費的経費が 2,225,876 千円で全体の 57.3%を占め、投資的経費は 499,401 千円で 12.9%となっている。  
（第 2 表 支出の状況参照）
- ニ. 一般会計における令和 2 年度末の町債の残高は、4,871,467,881 円で前年度比 100.03%、金額では 1,860,773 円の増となっている。

## ○総 括

- イ. 歳入歳出差引額は 59,458,137 円で、繰越明許費 102,397,000 円を除いた△42,938,863 円全額翌年度に繰越された。
- ロ. 町税、使用料等の徴収率は概ね良好である。なお、農業費分担金については 3,939,030 円が収入未済となっており、引き続き納入されるように努力を期されたい。  
歳入全般については、地方交付税など国からの財源に依存するところが大きく、自主財源の総額は 1,150,784 千円と前年度に比べ繰越金等の減少に伴い対前年比 145,987 千円減となり、依存財源では町債の減少に伴い対前年比 127,248 千円減となった。  
町税全体の収入未済額については、引き続き公正公平の観点から徴収に向け努力されたい。
- ハ. 財政状況の硬直化がつづく中で歳出全般について更なる経費の節減を図りつつ事務事業の見直しを行い、経常経費の節減に努め、国庫補助金や有利な起債を的確に把握し、その確保に努めるなど一層の努力を期待するとともに、自主財源の確保にも努められたい。

第1表 財源の状況

歳入を自主財源と依存財源に区分すれば、次のとおりである。

自主財源と依存財源の対比

(単位：千円、%)

		令和2年度		令和元年度		対前年伸率
		収入済額	構成比	収入済額	構成比	
自主財源	町 税	181,650	4.6	172,392	4.1	5.4
	分担金及び負担金	16,899	0.4	12,879	0.3	31.2
	使用料及び手数料	70,750	1.8	72,320	1.7	▲ 2.2
	財産収入	2,663	0.1	5,895	0.1	▲ 54.8
	寄付金	644,872	16.4	596,008	14.1	8.2
	繰入金	95,671	2.4	256,634	6.1	▲ 62.7
	繰越金	67,340	1.7	112,754	2.7	▲ 40.3
	諸収入	70,939	1.8	67,889	1.6	4.5
	計	1,150,784	29.2	1,296,771	30.7	▲ 11.3
依存財源	地方譲与税	42,426	1.1	41,205	1.0	3.0
	利子割交付金	159	0.0	129	0.0	23.3
	配当割交付金	387	0.0	432	0.0	▲ 10.4
	株式等譲渡所得割交付金	474	0.0	287	0.0	65.2
	法人事業税交付金	599	0.0	0	0.0	皆増
	地方消費税交付金	45,819	1.2	37,552	0.9	22.0
	自動車取得税交付金	0	0.0	4,438	0.1	▲ 100.0
	自動車環境性能割交付金	2,775	0.1	1,280	0.0	116.8
	地方特例交付金	1,596	0.0	2,145	0.1	▲ 25.6
	地方交付税	1,536,264	39	1,455,622	34.6	5.5
	交通安全対策特別交付金	0	0.0	0	0.0	—
	国庫支出金	517,226	13.1	269,465	6.4	91.9
	道支出金	259,347	6.6	253,946	6.0	2.1
	町 債	384,506	9.7	852,325	20.2	▲ 54.9
計	2,791,578	70.8	2,918,826	69.3	▲ 4.4	
歳 入 計		3,942,362	100.0	4,215,597	100.0	▲ 6.5

## 第2表 支出の状況

歳出の状況を性質別に区分すれば、次のとおりである。

### 決算状況

(単位：千円、%)

		令和2年度		令和元年度		対前年伸率
		支出済額	構成比	支出済額	構成比	
消費的経費	人件費	435,521	11.2	430,938	10.4	1.1
	物件費	587,121	15.1	616,934	14.8	▲ 4.8
	維持補修費	80,006	2.1	56,930	1.4	40.5
	扶助費	127,730	3.3	128,285	3.1	▲ 0.4
	補助費等	995,498	25.6	649,896	15.7	53.2
	計	2,225,876	57.3	1,882,983	45.4	18.2
投資的経費	普通建設事業費	499,401	12.9	1,177,699	28.4	▲ 57.6
	災害復旧事業費	0	0.0	2	0.0	▲ 100.0
	計	499,401	12.9	1,177,701	28.4	▲ 57.6
その他	公債費	393,968	10.1	366,582	8.8	7.5
	積立金	403,617	10.4	417,396	10.1	▲ 3.3
	投資及び出資金・貸付金	33,524	0.9	29,701	0.7	12.9
	繰出金	326,518	8.4	273,894	6.6	19.2
	計	1,157,627	29.8	1,087,573	26.2	6.4
歳出計		3,882,904	100.0	4,148,257	100.0	▲ 6.4

第3表 基金の状況

(単位：円)

名 称	令和元年度末残高	令和2年度中増減		令和2年度末残高
		積立金	取り崩し	
財政調整基金	485,322,425	63,951	0	485,386,376
減債基金	232,280,579	55,853,081	1,831,837	286,301,823
公共施設整備基金	211,958,564	38,028,275	0	249,986,839
ふるさと応援基金	400,524,521	294,364,892	86,177,888	608,711,525
地域福祉基金	56,477,450	10,676	1,000,676	55,487,450
農業振興基金	36,365,393	8,739,813	0	45,105,206
ひまわりバンク育成基金	6,212,187	3,261,250	263,333	9,210,104
農地保有合理化促進事業基金	16,400,725	18,402	5,347,420	11,071,707
森林環境基金	1,538,022	3,272,155	359,700	4,450,477
商工ひまわり基金	13,477,813	2,695	520,000	12,960,508
青少年育成基金	61,286	6	0	61,292
生涯学習振興基金	12,580,921	2,516	170,000	12,413,437
計	1,473,199,886	403,617,712	95,670,854	1,781,146,744

※参 考

(単位：円)

名 称	令和元年度末残高	令和2年度中増減		令和2年度末残高
		積立金	取り崩し	
国民健康保険会計財政調整基金	50,633,034	1,009,565	0	51,642,599
特別養護老人ホーム会計財政調整基金	738,247	320,073	0	1,058,320
介護保険会計介護給付費準備基金	1,060,153	401,111	0	1,461,264
北海道市町村備荒資金組納付金	149,404,642	900,443	0	150,305,085
計	201,836,076	2,631,192	0	204,467,268

※特別会計繰出金額

(単位：円)

会 計	令和元年度決算額	令和2年度決算額	増 減
国民健康保険特別会計	20,643,214	20,049,145	▲ 594,069
町立診療所事業特別会計	32,100,000	30,300,000	▲ 1,800,000
後期高齢者医療特別会計	11,844,820	12,566,099	721,279
介護保険特別会計	42,206,790	43,544,425	1,337,635
特別養護老人ホーム事業特別会計	49,800,000	98,467,179	48,667,179
農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計	68,500,000	69,000,000	500,000
計	225,094,824	273,926,848	48,832,024

第4表 一部事務組合負担金調

(単位：千円)

組 合 名	令和2年度 負担金額	令和元年度 負担金額	増 減	算 定 基 礎
北空知衛生施設組合	7,009	5,650	1,359	運営費 平均割 10%、ごみ量割 90% 建設費 ごみ量割 100%
北空知衛生センター 組合	18,865	23,641	▲ 4,776	し尿 経常経費 過去1年間の収集実績割 建設経費 北竜町 9.50% 可燃ごみ 経常経費 過去1年間の収集実績割 建設経費 均等割 10%、ごみ量割 90%
北空知葬斎組合	0	0	0	人口割(直近の国調人口) 100%
深川地区消防組合	100,782	99,842	940	人口割 50%、世帯割 40%、面積割 5%、財政割 5%
空知教育センター組合	318	309	9	運営費 滝川市1/2、その他市町1/2(平均 30%、人口 35%、 教職員 35%) 研修費 平均 20%、人口 20%、教職員 30%、距離 30%
北空知圏学校給食組合	10,572	9,650	922	運営費 実給食人数割 100% 建設費 均等割 10%、計画給食人数割 90%
中・北空知廃棄物処理広 域連合	8,609	6,536	2,073	運営費 前々年度まで過去3か年の平均ごみ量割 建設費 均等割 10%、固定ごみ量割 90%
計	146,155	145,628	527	

令和2年度 各市町別一部事務組合負担額調

(単位：千円)

組 合 名	深川市	妹背牛町	秩父別町	沼田町	雨竜町	幌加内町	北竜町	計
北空知衛生施設組合		12,598	9,935	9,646			7,009	39,188
北空知衛生センター組合	188,075	22,917	17,948	24,657			18,865	272,462
深川地区消防組合	688,091	105,036	91,588	248,626			100,782	1,234,123
空知教育センター組合	873	363	331	363	349		318	18,202
北空知圏学校給食組合	105,851	17,138	13,086	16,980			10,572	163,627
中・北空知廃棄物処理広 域連合	118,139	13,531	11,797	13,800	12,957		8,609	722,159
計	1,101,029	171,583	144,685	314,072	13,306	0	146,155	2,449,761

※ 空知教育センター組合、中・北空知廃棄物処理広域連合については、関係市町のみ記載のため計は≠とならない。

※ 深川地区消防組合、幌加内町については、R2.4.1付で士別地方消防組合へ移管につき、脱退。

## (2) 国民健康保険特別会計

### ○歳入

- イ. 予算現額 297,563,000 円に対し、収入済額は 293,940,688 円で収入歩合は 98.78%、対予算では 3,622,312 円の減である。また、調定額 299,239,320 円に対しては収入歩合 98.23%で 4,008,497 円が収入未済となっており、1,290,135 円が不納欠損処分された。
- ロ. 国民健康保険料の収入歩合は、現年度分で 99.56%と前年度比 2.6%減となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 20,049,145 円で歳入総額に占める割合は 6.82%であり、対前年度比 594,069 円の減となっている

### ○歳出

- イ. 予算現額 297,563,000 円に対し、支出済額は 291,221,383 円で執行率は 97.87%、6,341,617 円が不用額となっている。
- ロ. 支出済額のうち、保険給付費は前年比 10,496,171 円減の 174,595,727 円（構成比 59.95%）、国民健康保険事業納付金は 106,284,000 円（同 36.5%）、が主なもので歳出総額の 96.45%を占めている。

### ○総括

- イ. 歳入歳出において、2,719,305 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 令和 2 年度末の財政調整基金残高は 51,642,599 円で前年度に比べ 1,009,565 円の増となっている。
- ハ. 国民健康保険料の徴収率は現年度分で 98.91%、滞納繰越分で 23.57%である。令和 2 年度の収入未済額は 4,008,497 円で、前年度と比較すると 1,741,666 円減少しているが、不納欠損が 1,290,135 円あり滞納者の状況把握に一層努められたい。

今後も一層厳しい収支の状態が続くと予想されることから国民健康保険事業の健全運営に努められたい。

### (3) 町立診療所事業特別会計

#### ○歳入

- イ. 予算現額 99,741,000 円に対し、収入済額は 94,667,985 円で収入歩合は 94.91%、対予算では 5,073,015 円の減である。
- ロ. 診療収入は、町立診療所が 48,554,495 円で前年度比 4,484,108 円減となっている。また、町立歯科診療所では 9,668,267 円で前年度比 3,685,643 円の減となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 30,300,000 円で、歳入総額に占める割合は 32.00%であり、対前年度比 1,800,000 円の減となっている。

#### ○歳出

- イ. 予算現額 99,741,000 円に対し、支出済額は 94,206,640 円で執行率は 94.45%、5,534,360 円が不用額となっている。

#### ○総括

- イ. 歳入歳出においては 461,345 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 診療収入は、町立診療所で対前年度比 8.45%減、町立歯科診療所では対前年度比 27.60%減であった。一般会計からの繰入金は対前年度比 1,800,000 円減の 30,300,000 円となったが、依然として高い値となっている。  
町立診療所及び町立歯科診療所の経営については、収支構造の改善をされたい。

#### (4) 後期高齢者医療特別会計

##### ○歳 入

- イ. 予算現額 38,121,000 円に対し、収入済額は 37,760,003 円で収入歩合は 99.05%、対予算では 360,997 円の減となっている。
- ロ. 一般会計からの繰入金は 12,566,099 円で、歳入総額に占める割合は 33.28%であり、対前年度比 721,279 円の増となっている。

##### ○歳 出

- イ. 予算現額 38,121,000 円に対し、支出済額は 37,746,103 円で執行率は 99.02%、374,897 円が不用額となっている。

##### ○総 括

- イ. 歳入歳出においては、13,900 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。

## (5) 介護保険特別会計

### ○歳入

- イ. 予算現額 287,111,000 円に対し、収入済額は 286,662,266 円で収入歩合は 99.84%、対予算では 448,734 円の減である。
- ロ. 介護保険料の徴収率は、現年度分が 100%で 40,214,927 円、滞納繰越分はなしとなっている。
- ハ. 一般会計他からの繰入金は（基金を除く）43,544,425 円で、歳入総額に占める割合は 15.19%であり、対前年度比 1,337,635 円の増となっている。

### ○歳出

- イ. 予算現額 287,111,000 円に対し、支出済額は 276,678,624 円で執行率は 96.37%、10,432,376 円が不用額となっている。
- ロ. 支出総額のうち、保険給付費が 231,334,815 円（構成比 83.61%）で前年度比 10,068,655 円減、地域支援事業費 22,578,654 円（同 8.16%）が主なもので全体の 91.77%を占めている。

### ○総括

- イ. 歳入歳出において 10,378,642 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 介護給付費準備基金残高は減少しており、今後介護保険料が増加する懸念があり、留意されたい。

## (6) 特別養護老人ホーム事業特別会計

### ○歳 入

- イ. 予算現額 448,569,000 円に対し、収入済額は 442,880,988 円で収入歩合は 98.73%、対予算では 5,688,012 円の減となっている。
- ロ. 介護収入は、337,542,152 円で前年度比 35,402,640 円の減となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 98,467,179 円で歳入総額にしめる割合は 22.23%であり、前年比 48,667,179 円の増であった。また、財政調整基金からの繰入金は 320,073 円、その基金残高は 1,058,320 円となっている。

### ○歳 出

- イ. 予算現額 448,569,000 円に対し、支出済額は 442,349,456 円で執行率は 98.61%、6,219,544 円が不用額となっている。

### ○総 括

- イ. 歳入歳出において 531,532 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 令和 2 年度の財政調整基金残高は 1,058,320 円、対前年度比 320,073 円の増となっている。
- ハ. 安定的かつ健全な事業運営をされたい。

## (7) 農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計

### ○歳入

- イ. 予算現額 112,693,000 円に対し、収入済額は 110,916,473 円で収入歩合は 98.42%、対予算では 1,776,527 円の減となっている。  
また、調定額 110,952,653 円に対しての収入歩合は 99.97%で 36,180 円が収入未済となっている。
- ロ. 下水道使用料（浄化槽を含む。）の現年度分の収納率は 99.89%となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 69,000,000 円で歳入総額に占める割合は 62.21%であり、対前年度比 500,000 円の増となっている。

### ○歳出

- イ. 予算現額 112,693,000 円に対し、支出済額は 110,669,672 円で執行率は 98.20%、2,023,328 円が不用額となっている。
- ロ. 公債費は 50,282,818 円で、歳出総額の 45.44%を占めている。

### ○総括

- イ. 歳入歳出において 246,801 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 令和 2 年度末の農業集落排水事業への加入戸数は 473 戸（932 人）で区域内対象戸数 494 戸（964 人）に対し、95.7%の加入率となっている。  
また、個別排水処理事業への加入戸数は 184 戸（550 人）で対象戸数 313 戸（768 人）に対し、58.8%の加入率となっている。
- ハ. 農業集落排水事業及び個別排水処理事業使用料の滞納額は、過年度分で 36,180 円となっている。滞納額は職員の努力により、減少傾向にある。引き続き指導を含め滞納額の徴収に最善の努力を望む。

### 3. 基金運用状況審査結果

#### (1) 北竜町奨学資金貸付基金審査意見書

令和2年度北竜町奨学資金貸付基金の運用状況について審査し、次のとおり意見を付す。

令和3年8月31日

監査委員 板垣 義一

監査委員 小坂 一行

#### 1. 審査意見

審査の結果、運用に関する調書の計数は正確であり、その運用は設置の目的に従って原資金の範囲内において運用されている。

## 令和 2 年度 北竜町奨学資金貸付調書

(単位：円)

区 分	令和元年度末 現 在 高	令和 2 年度中の増減			令和 2 年度末 現 在 高
		増	減	免 除	
貸 付	34,246,000	6,840,000	7,853,000		33,233,000
運 用	9,491,466	7,853,088	6,840,000		10,504,554
合 計	43,737,466	14,693,088	14,693,000		43,737,554

### ※令和 2 年度中増減の内訳

(単位：円)

	増		減	
貸 付	新規 3人	1,200,000	貸付金返還	
	継続 14人	5,640,000	30件	7,853,000
	計	6,840,000	計	7,853,000
運 用	貸付金返還	7,853,000	新規貸付	1,200,000
	原 資	0		
	預金利息	88		
	寄 附 金		継続貸付	5,640,000
	基金積立金	0		
	計	7,853,088	計	6,840,000
合 計		14,693,088		14,693,000